

「東日本大震災」校長講話

R3.3.11

皆さん、おはようございます。

今日は3月11日。今から10年前の今日、午後2時46分に1000年に一度といわれた東日本大震災が発生しました。地震や津波により、約16,000人の方が亡くなり、約2,500人が行方不明となっています。また、津波に伴って発生した原発事故により、現在も多くの方が避難生活をしています。

毎年この時期になると、新聞やテレビで震災の被害を受けた街や大切な人を失った方々の様子などが報道されます。

そこには、大切な人（子どもや親、奥さんや夫、友だちなど）への、今なお、断ち切れない切ない思いが映し出されます。もしも、今皆さんの身に何かがあったとしたら、悲しい思いをする人がたくさんいることでしょう。その人たちを思い浮かべてください。

今、浮かんだ人は、皆さんとともに喜び、応援してくれたり、支えてくれたりする人たちでもあります。今、私たちは、自分の命を当たり前のように生きていますが、10年前の今日、同じように生きていた多くの方々が、予期せぬ出来事に突然命を失ってしまいました。命は、あって当たり前ではなく、多くの人のお互いのお互いに生かされているのです。どうか、皆さん、命を大切に、これからも力強く生きてください。

今日の午後2時46分には、東日本大震災で命を失われた方、被災された方々に思いをはせて、1分間の黙祷が全国各地で行われます。本校でも、この後、黙祷をしたいと思いますので協力をよろしく願います。